

## ＜従業員用＞研修実施後のフォローアップ調査票

「仕事と介護の両立セミナー」テキストに基づき実施したセミナーや、従業員に配布した「仕事と介護の両立準備ガイド」リーフレットについて、その効果を測定するためのフォローアップ調査票です。主に人事担当者から、介護に直面する可能性が高まる40歳代・50歳代の従業員を中心に、研修資料等としてお配りください。

### 【回答に関して】

- ①本アンケート調査の所要時間は約10分です。
- ②本アンケート調査は、社員の皆様の仕事と介護の両立に関する意識を調査するために行うものです。  
該当する項目の数字を○で囲んでください。回答内容について個人が特定されることはありません。
- ③本アンケート調査には、すべて回答してください。

※本アンケート調査での「介護」とは、「あなたと配偶者の両親、子、親族やあなたの配偶者を介護すること」を指します。また、在宅介護、施設介護、遠距離介護など、ご自身で実施している介護もすべて含まれます。

※本アンケート調査での「勤務先」とは、当社（出向者は出向先）を指し、あなたが所属する事業部または部・課相当の組織を指します。

会社自ら実施していただくセミナーです。  
→【資料編】【3】 社内研修用：「仕事と介護の両立支援セミナー」が活用できます。

あなたの職場で実施された「仕事と介護の両立セミナー」についてお伺いします。

Q a 「仕事と介護の両立セミナー」を受講されましたか。

【○は一つ】

1. はい
2. いいえ

→Q fへ進んでください

【Q aで「1. はい」と回答した方にお伺いします】

Q b セミナーの内容は役に立ちましたか。【○は一つ】

1. 役に立った
2. やや役に立った
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たなかった
5. 役に立たなかった

【Q aで「1. はい」と回答した方にお伺いします】

Q c セミナーを受講して、仕事と介護の両立のために重要だと思った内容を全て選択してください。

【Oはいくつでも】

1. 事前の心構えの重要性（自分も直面する課題として捉える、離職せず働き続ける）
2. 職場に「家族等の介護を行っている」ことを伝え、必要に応じて、勤務先の「仕事と介護の両立支援制度」を利用する
3. 介護保険サービスを利用し、自分で「介護をしすぎない」
4. ケアマネジャーを信頼し、「何でも相談する」
5. 日ごろから「家族や要介護者宅の近所の方々等と良好な関係」を築く
6. 介護を深刻に捉えすぎずに、「自分の時間を確保」する
7. 働き方の見直しの重要性
8. いずれも該当しない

→Q eへ進んでください

【Q cで「1～7」に回答した方にお伺いします】

Q d セミナーを受講して、仕事と介護の両立のためにもっとも重要だと思った内容を選択してください。

【Oは一つ】

1. 事前の心構えの重要性（自分も直面する課題として捉える、離職せず働き続ける）
2. 職場に「家族等の介護を行っている」ことを伝え、必要に応じて、勤務先の「仕事と介護の両立支援制度」を利用する
3. 介護保険サービスを利用し、自分で「介護をしすぎない」
4. ケアマネジャーを信頼し、「何でも相談する」
5. 日ごろから「家族や要介護者宅の近所の方々等と良好な関係」を築く
6. 介護を深刻に捉えすぎずに、「自分の時間を確保」する
7. 働き方の見直しの重要性

【Q aで「1. はい」と回答した方にお伺いします】

Q e セミナーを受講して、ご自身の働き方を見直しましたか。【Oは一つ】

1. 見直した
2. これから見直したいと思っている
3. 今後、働き方を見直す考えはない

あなたの職場で案内された「仕事と介護の両立準備ガイド（リーフレット）」についてお伺いします。

**Q f 「仕事と介護の両立準備ガイド（リーフレット）」を読まれましたか。【Oは一つ】**

1. じっくり読んだ
2. だいたい読んだ
3. 読んでいない →Q j へ進んでください
4. 配布されていない →Q j へ進んでください

**【Q f で「仕事と介護の両立準備ガイド（リーフレット）」を読まれた方にお伺いします】**

**Q g リーフレットの内容は役に立ちましたか。【Oは一つ】**

1. 役に立った
2. やや役に立った
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たなかった
5. 役に立たなかった

**【Q f で「仕事と介護の両立準備ガイド（リーフレット）」を読まれた方にお伺いします】**

**Q h リーフレットを読んで、仕事と介護の両立のために重要だと思った内容を全て選択してください。**

**【Oはいくつでも】**

1. 事前の心構えの重要性（自分も直面する課題として捉える、離職せず働き続ける）
2. 職場に「家族等の介護を行っている」ことを伝え、必要に応じて、勤務先の「仕事と介護の両立支援制度」を利用する
3. 介護保険サービスを利用し、自分で「介護をしすぎない」
4. ケアマネジャーを信頼し、「何でも相談する」
5. 日ごろから「家族や要介護者宅の近所の方々等と良好な関係」を築く
6. 介護を深刻に捉えすぎずに、「自分の時間を確保」する
7. 働き方の見直しの重要性
8. いずれも該当しない →Q j へ進んでください

**【Q h で「1～7」に回答した方にお伺いします】**

**Q i リーフレットを読んで、仕事と介護の両立のためにもっとも重要だと思った内容を選択してください。**

**【Oは一つ】**

1. 事前の心構えの重要性（自分も直面する課題として捉える、離職せず働き続ける）
2. 職場に「家族等の介護を行っている」ことを伝え、必要に応じて、勤務先の「仕事と介護の両立支援制度」を利用する
3. 介護保険サービスを利用し、自分で「介護をしすぎない」
4. ケアマネジャーを信頼し、「何でも相談する」
5. 日ごろから「家族や要介護者宅の近所の方々等と良好な関係」を築く

6. 介護を深刻に捉えすぎずに、「自分の時間を確保」する
7. 働き方の見直しの重要性

〇年〇月以降のあなたご自身についてお伺いします。

Q j 〇年〇月以降、前の項目で質問した社内セミナーやリーフレット以外に会社から、仕事と介護の両立のための情報を提供されましたか。【〇は一つ】

1. はい
2. いいえ

Q k 〇年〇月以降、ご自分で仕事と介護の両立のための情報を集めましたか（書籍の購入や、新聞等からの情報収集、外部セミナーへの参加、地域の介護情報の収集など）。【〇は一つ】

1. はい
2. いいえ

Q l あなたは、前回の（ ）アンケートに回答しましたか。【〇は一つ】

1. はい
2. いいえ

あなたの仕事や職場の状況について伺います。

これ以降の設問は基本的に前回アンケートと同じ内容ですが、取組実施前後の変化を分析する必要もございますので、前回ご回答頂いた方も、改めてご回答頂きますようどうぞよろしくお願い致します。

Q m あなたの職場の残業の程度は平均的にみて次のどれにあたりますか。【〇は一つ】

- 恒常的に残業がある
- に半分は残業がある

【資料編】【1】実態把握調査票

のQ16以降と同じ設問になっています。

Q n あなたの1年間の年次有給休暇は希望通りとれましたか。【〇は一つ】

(※〇年〇月〇日時点での実績で回答してください)

1. 希望通りとれた
2. 大体希望通りとれた
3. どちらともいえない
4. あまり希望通りとれなかった
5. 希望通りとれなかった

Q o あなたの勤務先や職場では、長時間労働の削減や業務効率化のためにどのような取組をしていますか。【〇はいくつでも】

1. 業務簡素化や要員配置の見直しなどの業務処理体制の改善
2. 仕事のスケジュール管理や労働時間の使い方に関する管理職への研修
3. 残業時間を削減したことが評価へ反映される
4. ノー残業デーなど、職場全体の長時間労働を見直す取組み
5. 仕事のスケジュール管理や労働時間の使い方に関する一般社員への教育
6. 長時間勤務社員への相談・指導
7. 特に何も実施していない
8. その他

**Q p** あなたの職場のコミュニケーションについて、最も当てはまるものをそれぞれお答えください。

【それぞれ〇は一つ】

	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
a. 上司とのコミュニケーションは円滑である	1	2	3	4
b. 同僚や部下とのコミュニケーションは円滑である	1	2	3	4

あなたご自身について伺います

**Q q** 性別【〇は一つ】

1. 男性
2. 女性

**Q r** ご自身の年齢をご記入ください

--	--

歳

**Q s** 役職(出向中は出向先の役職)【〇は一つ】

1. 一般社員
2. 主任・係長相当職
3. 課長相当職
4. 部長相当職以上

—ご協力ありがとうございました—